



木曽川下流自然観察会

<http://owari.eco.coocan.jp/kisogawa.html>

日時 2018年12月9日(日) 9:30~12:00(曇り)

参加者 一般:2名(うち子ども0名)、

指導員:5名

テーマ 「冬鳥を見よう！」

今回のテーマは冬鳥です。昨年は11月の観察会でツグミの姿が見られましたが、今季はこの辺りへの渡来が遅かったようなので、見られるかどうか心配しながら歩き始めました。

木曽川の堤防法面は、先月までたくさん見られたメリケンカルカヤや花をつけていたキダチコンギクなど背丈の高い草がきれいに刈りとられていました。今年はこの公園の草刈り回数が多いようです。

キツネの巣穴があった河川敷まで来ると、ホトケノザの赤紫の花が一面に咲いていました。その間に、キツネが掘りかけた穴がいくつか見られ、近くには緑色の輪ゴムが含まれたキツネの糞がありました。鯨や海亀が餌と間違えて海を漂うプラスチックを飲み込むことが問題になっていますが、キツネが人の捨てた食べものといっしょにこうした物を食べていることも心配です。

河川敷ではエノキに飛んできたエナガの群れやシメを観察できました。ここはこれまでツグミがよく見られた場所ですが、今回ツグミは出現しませんでした。

大野極楽寺公園では、葉を落としたエゴノキが季節はずれの花を付けていました。少し行くと、普段は5月頃咲くベニバナトキワマンサクもしっかりと咲いていました。暖かい日が続いて桜が咲いたというニュースは時々聞きますが、エゴノキなどもこんな時期に咲くことがあるのですね。

138タワーパークに入った所で、エノキの幹にヨコヅナサシガメの幼体が集まり、何カ所かで黒い集団となっていました。幹の北側、西側、東側に集まっていたところを見ると、温度変化の少ない所が好まれているのでしょうか。寒い時期なのに、中には単独で何かは分かりませんが幼虫の体液を吸っている個体も見られました。

解散場所の138タワー近くまで戻って来て、コゲラをみている時、やっとツグミが姿を現しました。おそらく見られるだろうと期待していたジョウビタキが姿を見せず、今回は冬鳥が出ないかとあきらめかけていましたが、これで何とかこの日のテーマの冬鳥に出会えた観察会となりました。でも、ツグミは渡来が遅かったシーズンは、個体数も少なかったことが多いので、気をつけて観察していきたいと思います。(報告:齋竹)



(ヨコヅナサシガメを観察中)

<その他観察できたもの>

鳥:ヒヨドリ、カワラヒワ、アオジ、セグロセキレイ、モズ、キジバト、トビ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ウグイス(地鳴き)、ルリビタキ(近くで撮影していた人のカメラ画像)

虫:ツヤアオカメムシ、ナガホシカメムシ



輪ゴム入りのキツネの糞



季節外れのエゴノキの花



食事中のヨコヅナサシガメ



ツグミ(過去に撮影したもの)